



「マエストロ」

# 愛の手を

バプテスト心身障害児(者)を守る会

第212号

発行責任者  
社会福祉法人 バプテスト心身  
障害児(者)を守る会  
重症心身障害施設 久山療育園  
重症児者医療センター  
理事長 宮崎 信義  
編集責任者 鍋山 泰三  
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869  
☎(092)976-2281  
FAX (092)976-2172

障がい者を取り巻く環境は昔に比べるとずいぶんよくなっているように思います。50年ほど前までは、機能回復のための医療技術の進歩とともに障がい者コロニーの拡充が障がい者福祉の中心だった時代でしたので、私たちは障害の早期発見、早期訓練こそが治癒、改善につながると思われてあちこちの病院やリハビリ機関に続いていました。しかし、重症児者のような障害を手術や薬で治すことには医学的な限界があるということが証明されている今日、障がい者問題は、個人の努力や専門家による訓練・医療の領域と捉える従来の医学モデルよりも、QOL向上のための医療や個人に合った総合的な視点からの全人的医療が重視されるようになり、福祉行政の分野では社会モデルの考え方が主流になってきました。すなわち障がい者が不利益を被っているのは、個人の心身機能による問題というよりも、企業や組織の仕組みや慣習が、障がい者のような少

## 「サステイナブル社会を目指して」

入所保護者会 副会長／運営協議会委員 福田 靖

数派の存在を考慮せず、多数派の都合で作られている、言い換えれば、社会が障害を作り出しているのだから、それを解消するのは社会の責務であるというものです。そういう考え方が広く世界的に浸透してきたことが、障害者権利条約の締結や、そしてわが国でも障害者差別解消法の制定につながったのではないのでしょうか。

一方、最近はいたるところでSDGsという言葉が耳にします。これは2015年に国連が採択したもので、2030年までの実現を目指して、世界が取り組むべき持続可能開発目標をかかげたものです。SDGsは環境・社会・経済など世界中の人々が直面しているすべての課題を17の項目にまとめたものですが、障がい者の問題は、弱者の権利、差別、インクルーシブ社会(多様性を認め、すべての人が支え合いながらともに生活できる社会)など障害者権利条約の精神に沿ったもので、複数の目標の中に取り入れられています。それはこの問題が関連する多方面からのアプローチが必要であるということに外なりません。開発目標は多岐にわたりますが、「誰一人取り残さない(Leave No One Behind)」というのが共通するテーマになっています。言い換えれば、SDGsとは障がい者問題に限らず、世の中のあらゆる課題に包括的に取り組み、持続的(サステイナブル)に「人と地球にやさしい社会」の実現を目指す。

障がい者種類も程度も様々ありますが、それぞれの人にとって何が必要であり何が最善であるかをさぐりながら合理的な配慮をするのは、医療従事者に限らず、周りのすべての人ができることだと思います。来年4月からは改正障害者差別解消法の実施により、弱者に対して可能な限りの合理的配慮を提供することが事業者にとってこれまでの努力義務から法的義務になります。法的整備が進み、世の中に弱者に対する理解と優しさが広まれば、将来はもっと明るい社会が期待できるような気がします。

すということではないでしょうか。久山療育園は半世紀近くにわたって超重症の心身障害児者のための療育事業に取り組んでこられました。この長い歴史の中で、増大する家族や専門家や特定の人たちの負担を少しでも改善するために、社会全体でこの問題をサポートするような仕組み作りが考えられ始めているということは当事者にとってもありがたいことです。最近、岩永センター長および宮崎前センター長(現理事長)はともにQOLの医療、全人的医療、地域医療、物理的な分野だけでなく心のバリアフリー、ピアサポート(上下関係ではなく、仲間同士で支えあうこと)、インクルーシブ社会などの重要性を強調されています。まさに時代の流れを先取りした療育の在り方だろうと思えます。

理念と展望

久山療育園の設立理念の再確認と実践  
創立50周年を目指して

理事長 宮崎信義

212号では、2023年

注視していきます。

5月18、19日に開催された(オンライン形式)令和5年度全国重症心身障害施設協議会からの行政説明や事業体からの提言も考慮して、「久山療育園の設立理念の再確認と実践(2023年度)」を創立50周年(2026年)を目指してに焦点を絞って提言致します。令和5年度全国重症心身障害施設協議会の内容については、別途にご報告いたします。

② 第II期(2024年) 危機管理からBCPの実践、事業の展開、事業に関連した立地・特性・地域性の情報収集とBCPの進捗状況の検証を進めていきます。

③ 第III期(2026年) 2027年) 事業進捗状況の評価と事業の向上を目指し、新たな将来計画の策定を目指して参ります。

(2) 財政健全化プロジェクトの役割と重要性(2023年度の「経営会議」に向けて

① 第I期(2022年) 2023年) BCP策定期(2024年3月までの策定期(義務化)・当センターの基本理念である創立理念の遵守と検証、危機の認識と役割の質的な向上を目指して参ります。現状ではBCPの主眼は、新型コロナウイルス感染症対策と防災(震度5強以上)と考えられています。具体的には、1) 大地震に対する防災実施計画(防災設備、避難経路・避難所)。2) 新型コロナウイルス感染症対策を細密にし、新変異種「オミクロン株」等の動向を

第44回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会開催担当施設として

5月開催の「全国重症心身障害施設協議会」と並んで重要な「第44回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会」が2023年11月16日(木)、17日(金)に予定されています。その担当施設として、当センターと県内3施設(柳川療育センター、北九州総合療育センター、虹の家)との共同開催が決定しています。会場は九州大学医学部百年講堂、テーマは「重症児(者)支援の目指す方向」を伴走する医療と療育の課題を検討しています。主な内容については、特別講演I「強度行動障害を伴う重症児(者)」、特別講演II「重症心身障害施設のBCP(事業継続計画)」、シンポジウム「中高年齢化する重症心身障害児(者)の今日的課題」となっています。

まとめに代えて：地域に開かれた施設として

『ミットレーベン・ネットワーク』・保護者会・地域との協働・ミットレーベン・ネットワーク(旧バプテストコロニー友の会)は1969年11月に結成され、2023年で54年目を迎えました。伴走する運動体としての事業に対する街頭募金や友の会会費からの支援金に感謝し、重症心身障害児者支援に活用させて頂きました。

病氣だとからだから  
第16回

「まだまだある肺結核」

センター長/理事 岩永知秋

はじめに

結核というと、最近はおまじに耳にしなくなった病氣だと思っいていませんか？確かに昔に比べると患者数は減少してきましたが、まだまだ油断ができません。結核は1950年頃まで、日本人の病氣による死亡の第一位でした。結核に有効な治療法がなく、「大氣、安静、栄養」が3大治療法とされ、有効なくすりはありませんでした。そこで、イモリの黒焼き、糸瓜(ヘチマ)水、その他いろいろの怪しげな民間療法がはやったこともありました。3年前に月刊誌「臨床と研究」に、「結核随想―結核の時代と文化、そしていま」と題して、コラムを寄稿したことがあります。結核が日本人の死因の主原因であったのは、およそ第2次大戦のころまで(戦争による死亡は除く)。特に明治、大正、昭和初期の結核は文化と密接に関係して存在しました。なぜなら結核は人間の死生観を形作るほどの大きな影響を持っていたからです。明

■結核はかつて国民病だった  
結核は1950年頃まで、日本人の病氣による死亡の第一位でした。結核に有効な治療法がなく、「大氣、安静、栄養」が3大治療法とされ、有効なくすりはありませんでした。そこで、イモリの黒焼き、糸瓜(ヘチマ)水、その他いろいろの怪しげな民間療法がはやったこともありました。3年前に月刊誌「臨床と研究」に、「結核随想―結核の時代と文化、そしていま」と題して、コラムを寄稿したことがあります。結核が日本人の死因の主原因であったのは、およそ第2次大戦のころまで(戦争による死亡は除く)。特に明治、大正、昭和初期の結核は文化と密接に関係して存在しました。なぜなら結核は人間の死生観を形作るほどの大きな影響を持っていたからです。明

1998年私はNHK福岡のテレビに呼ばれ、結核とはどういう病氣か、そして日本の結核の現状について簡単な解説を求められました。その際、ダイレクターからなぜ日本では結核が減らないのか、と問われ、返答に少し困った覚えがあります。過去に「国民病」として結核が君臨した過去があり、60代以上の日本人はその影響が残っていること、免疫力が低下する高齢化社会への変遷、若い世代に免疫を持たない人がふえたこと、また

治時代を見ても歌人・俳人として正岡子規、石川啄木が自らの結核の病気を歌に詠んでおり、堀辰雄などのサナトリウム文学と呼ばれる、ロマン的な小説の一派も存在しました。外国に目を転じれば、古くから多くの文学に結核は登場しており、わが国ではトーマス・マンの「魔の山」などの小説が有名です。

### ■結核の低まん延国になった日本

1950年以降ストレプトマイシンを皮切りに多くの抗結核薬が順次開発され、結核感染者や死亡者は減少しました。にもかかわらず、わが国は長らく結核の「中まん延」国という、ありがたくないうグループに属し、先進国の中では遅れた立場にあったのです。1997年には結核罹患率が43年ぶりに増加したことを受けて、当時の宮下厚生大臣が「結核緊急事態宣言」を出したことを、呼吸器内科医の一人として衝撃をもって受け止めたことを思い出します。このような引き締めもあってその後罹患率は順調に減少し、2021年、日本は晴

入りをしました。人口10万人当たり10人の壁を破れず、長らく「中まん延」国にとどまっていたのですが、ついに人口10万人当たり9.2人まで減少しました。法律上も従来結核予防法という独立した法律に則った対応が行われてきました。2007年4月から感染症法に統合され、2類感染症の扱いとなりました。

### ■最近の特徴

結核にかかる患者さんの数が減少するとともに、結核患者さんたちの構成も最近では変わりました。昔は若い人の病気が多かった結核も、今は高齢者に多い病気となり、患者さんの60%が70歳以上の高齢者です。一方、現在では20歳代患者さんの多くが、他のアジア諸国などからの外国出生者となる傾向があります。麻疹（はしか）や風疹などとともに、結核の一部は輸入感染症としての性質を帯びています。また地域によって発症者に偏りがあるのも特徴の一つです。最近は大都市や西日本に多い傾向が見られ、福岡県も患者発生が比較的多い方です。コロナ時代の最近はどうでしょう。結核は人類最大の感染症と呼ばれています

が、最近では結核による死亡は順調に減少していました。しかし、この新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にあつては、各国、各地でのロックダウンなどにより、結核の診断と治療に対する病院へのアクセスが困難となりました。2020年は結核により世界で150万人が亡くなられたそうです。一方わが国では、マスクや三密回避、換気などの感染対策が、結核対策にも効果を示しているようです。

### ■結核は油断できない

患者数の減少傾向にはあるものの、結核はまだまだ恐れべき病気の一つです。なぜなら、第一にこの病気は人から人に伝染する、ヒト→ヒト感染の病気だからです。その感染様式は主として飛沫核感染、つまり咳で口から飛び出した痰に含まれる結核菌が感染を起こします。油断できない第二の点は、ときおり起こる集団感染です。昔結核が多かった時代に比べて、現在では多くの人は結核菌に対する免疫がありません。したがって、一人の人が結核を発症すると、その周囲の複数の人に結核が感染することがあります。ときおりニュースな

どで集団感染が報じられることがあります。さらに注意すべき第三の点として、結核特有の症状はなく、咳、痰、微熱、倦怠感など、いろいろな呼吸器の病気で一般的にみられる症状が主です。したがって、症状がある人でも感冒や気管支炎として捉えられることが少なくありません。第四に、結核を診断する医療側の問題があります。医師に結核を診断・治療する機会が減っている現在、結核を疑うことが念頭にない恐れがあります。結核の診断はこの病気を疑って、胸部レントゲン写真をとったり、また必要に応じて痰の結核菌検査(塗抹、培養)などの検査をしないと、診断にたどり着きません。最近では痰の核酸増幅検査(PCR)や血液検査で特異的インターフェロガンマ検査(IGRA)など、新しい補助的な検査も登場しています。まずはこの病気を疑ってそれ専用の検査を行わない限り、正しい診断を得ることができません。呼吸器内科医であっても若い人の中には結核を診断したり、治療したりする機会の少ない人がいる時代です。

### ■結核は治る病気

結核は昔と違い、標準治療と呼ばれる4種類の抗結核薬を6〜9か月ほど(4つのうち一部はくすりは半年も使いません)服用することにより、大部分は治るようになりました。ただし、菌が喀痰に出ている(これを排菌といいます)間は入院して他の人への感染を防がなければなりませんので、しばらくの間入院が必要となります。しかし、昔は何年と必要であった入院期間は、今では治療がうまく運ばれば2〜3か月と短縮されました。くすりを長く服用していた昔と比較すれば服薬期間も短縮され、入院期間を含めて6〜9か月と昔とは雲泥の差となりました。また有効な薬剤がなかった昔は、手術をしたり、治つても結核の後遺症が残ったりする人がおられ、そのような人の中には慢性呼吸不全から長期酸素療法へつながることもありました。しかし、今では酸素療法が必要な結核後遺症の方はほとんど見かけなくなりました。結核に感染はしたけれども発症はしていない人も、今では積極的に治療するようになり、呼びますが、症状もなく胸部写

真でも異常がありません。

しかし、結核患者さんとの接触があり、ツベルクリン反応やIGRAが陽性であれば、抗結核薬1剤を6〜9か月間服用していただくことが多いようです。他の人への感染の危険はありません。

■結核菌は抗酸菌の一つ

結核菌は抗酸菌と呼ばれる細菌のひとつです。酸に抵抗する細菌の意味です。酸、アルカリ、の酸ですね。ほとんどの細菌は酸の強い環境では死滅するのですが、この抗酸菌は死にません。からだの中で酸があるところと言えば、すぐに胃袋にある胃酸を思いつくのではないのでしょうか。多くの細菌は胃の中に入ると胃酸のために死滅してしま...

ますが、2つの菌だけが生き残ります。抗酸菌とピロリ菌です。ピロリ菌については以前の原稿で書きましたので、ここでは省略いたします。抗酸菌には結核菌のほかに、非結核性抗酸菌と呼ばれる細菌があります。結核菌と他の抗酸菌(非結核性抗酸菌)の違いとは、まず人から人への感染(伝染)が起こるのは結核だけで、その他の抗酸菌にはこの感染伝播がないことです。現

在では肺結核よりも罹患数が多くなった非結核性抗酸菌症については、また別の機会にご紹介したいと思います

■結核病棟の思い出

私は国立病院機構(福岡病院↓福岡東医療センター↓福岡病院)に勤めること28年間、そのうち結核の診療に携わること10年以上でした。結核はヒト―ヒト感染をするため、限られた病院(国立病院機構は現在1県1病院が原則。福岡県は県域が広いことなどから例外として2病院)で、かつ専用病棟が当てられています。入院期間が短縮されたとはいえ、一般病棟に比べれば入院期間が長いことから、患者さん達とも長いお付き合いになります。

多剤耐性菌の持続排菌のため数十年入院し病院が住所となってしまう人、南米から出稼ぎにきて運悪く結核を発症した人、自分の症状がまさか結核とは思わず集団感染の発生源となってしまう人など、さまざまな患者さんを経験しました。若い世代から老年世代まで患者層も広く、辛抱強く治療を続ける患者さんから、人生についていろいろ教えられることも多かったように思います。

役員人事報告

5月26日(金)「第1回理事会(新理事長予選)」に続き6月16日(金)「第1回(定時)評議員会」が開催され、以下の通り理事長、理事9名、監事3名の方々(敬称略)が選任(全員重任)されましたのでご報告致します。

理事長 宮崎信義

理事 宮崎信義、岩永知秋、鍋山泰三、踊 一郎、志満秀武、伊原幹治、叶 義文、渡辺浩行、吉本法生

監事 樋口重登、柴田公文、堤 秀幸

任期は2023年6月16日「第1回(定時)評議員会」終了時から、以降2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終了の時(2025年6月まで)となります。

職員の異動

【採用】 (2023/4/2〜6/30) 5/21付 杉田 知美 (調理師) 6/1付 玉邑 浩一 (介護福祉士) 木下 結 (言語聴覚士)

【退職】 4/30付 岩永 舞(介護福祉士) 吉田 規子(調理師) 田中 和人(事務員) 吉田 藍(看護師) 5/10付 町田 志磨子(療育員) 6/30付 白川 愛実(看護師) 中城 夏美(介護福祉士) 木下 晶子(作業療法士)

メモ帳

- 【4月】▽3日・4日 新入職員オリエンテーション ▽5日 通所始園式 ▽5日・6日 病棟新入職員オリエンテーション ▽6日 福岡特別支援学校 始業式 ▽7日 福岡特別支援学校小・中・高合同 入学式 ▽11日 久山町社会福祉法人情報交換会 ▽12日 久山町社協通所インタビューのため来園 ▽14日 イースター ▽17日 経営会議 ▽21日 誕生会 ▽23日 保護者会総会 【5月】▽1日 新入職員オリエンテーション ▽11日 会計事務所監査 ▽12日 監事監査 ▽15日 経営会議 ▽18日 全体避難訓練 ▽18日・19日 日本重症心身障害福祉協会定期総会 全国施設協議会(Zoom) ▽19日 福岡特別支援学校指導協議会 ▽23日・25日 職員検診会 ▽26日 2023年度第一回理事会 年度定期総会 【6月】▽2日 北部地区連携コア会議(Zoom) ▽8日 西日本施設協議会2023第6回担当施設合同実行委員会 ▽16日 2023年度第1回評議員会 ▽19日 経営会議 ▽21日 社会福祉法人総会経営者セミナー(Zoom) ▽24日 福岡パプテスト連盟子羊会 ▽26日 保護者会役員会との懇談会及び役員会 ▽27日 久山町社協情報交換

2023年5月26日第1回理事会承認  
2023年6月16日第1回評議員会承認

## 2022年度 決算概要

2021年度決算の事業活動収支における約1億円の赤字を受け、今後5年をかけて黒字化を目指す1年目となる。  
2022年度においてもコロナ感染の状況は継続し、短期入所の稼働制限や通所を始めとする在宅利用者を対象とする事業に於いても影響を受け、年末年始においては入所施設内にクラスターが発生する状況となった。  
支出面に於いても、ウクライナ情勢を背景とした物価高、原油高騰に伴う影響を強く受けることとなった。  
人材不足にも拍車がかかり、賃金上昇における競争の激化、どの職種においても退職に対して補充が追い付かない状況が発生した。  
今年度においては、コロナ関連のサービス継続支援補助金に加え、物価高騰に対する支援給付金なども受領することが出来た。  
収支改善を協議する財政健全化プロジェクト会議を定期的に開催し、その中に於いて入所枠の1名増加を決定し、1月より運用を開始した。  
また積立金の再編を実施し、①公益的な取組み積立金②社会福祉充実残額積立金③運転資金積立金④減価償却積立金を取崩し、  
①土地購入資金積立金②中長期積立金③基本財産減価償却積立金に積立を行った。  
資金収支計算書において、補正予算対比で収入については100.2%、支出については99.7%の執行率であった。  
最終の当期資金収支差額は、17,577,636円となった。(実質的には、積立金に約40,000千円積立しているため約57,500千円となる)  
事業活動計算書については、前年対比で収入102.7%、支出については99.4%となった。  
最終の当期活動増減差額は、△55,203,059円となり、前年度の△104,864,114円より+49,661,055円改善することが出来た。

### 資金収支計算書

(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	3,960,000	4,000,158	40,158
		障害福祉サービス等事業収入	538,416,000	543,531,097	5,115,097
		医療事業収入	816,410,000	812,970,157	△ 3,439,843
		経常経費寄附金収入	23,767,000	24,926,741	1,159,741
		受取利息配当金収入	2,500,000	2,551,305	51,305
		その他の収入	9,850,000	10,262,428	412,428
		事業活動収入計 (1)	1,394,903,000	1,398,241,886	3,338,886
	支出	人件費支出	1,059,839,000	1,054,237,772	△ 5,601,228
		事業費支出	174,205,000	167,409,265	△ 6,795,735
		事務費支出	109,859,000	107,883,014	△ 1,975,986
事業活動支出計 (2)		1,343,903,000	1,329,530,051	△ 14,372,949	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		51,000,000	68,711,835	17,711,835	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	0	0	0
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	14,000,000	11,876,670	△ 2,123,330
		施設整備等支出計 (5)	14,000,000	11,876,670	△ 2,123,330
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 14,000,000	△ 11,876,670	2,123,330	
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	1,557,150,000	1,557,149,734	△ 266
		その他の活動による収入	0	722,562	722,562
		その他の活動収入計 (7)	1,557,150,000	1,557,872,296	722,296
	支出	長期貸付金支出	0	0	0
		積立資産支出	1,594,150,000	1,597,124,825	2,974,825
		その他の活動による支出	0	5,000	5,000
		その他の活動支出計 (8)	1,594,150,000	1,597,129,825	2,979,825
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 37,000,000	△ 39,257,529	△ 2,257,529
予備費支出 (10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	17,577,636	17,577,636	
前期末支払資金残高 (12)		443,417,980	443,417,980	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		443,417,980	460,995,616	17,577,636	

# 令和5年度日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会報告

理事長 宮崎 信義

はじめに

2023年5月18(19)日に、令和5年度全国重症心身障害施設協議会が松山市の愛媛県立子ども療育センターの担当によりオンライン形式(Zoom)で開催されました。ともかくも最重要の会議ですので、協議会の内容をご報告いたします。

## 行政説明「障害児福祉関係施策の動向について」

講師は今年4月に発足したこども家庭庁の支援局障害児支援課課長の栗原正明様から以下のように説明がなされました。その要旨について報告致します。

I. 児童福祉法等の一部を改正する法律(令和4年法律第66号)の概要

改正の主旨は、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化等を行うこと。改正の概要については、①子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充【児童福祉法、母子保健法】。市区町村は、包括的

な相談支援等を行うことも家庭センターの設置や、身近な子育て支援の場(保育所等)における相談機関の整備に努める。②一時保護所及び児童相談所による児童への処遇や支援。③社会的養育経験者・障害児入所施設の入所児童等に対する自立支援の強化【児童福祉法】等。施行期日は、令和6年4月1日。

II. 児童発達支援センターの役割・機能の強化①制度の現状について、障害児通所支援については、平成24年の法改正において障害種別毎に分かれていた給付体系をできる限り一元化した。②「福祉型」と「医療型」(肢体不自由児を対象)に分かれ、障害種別による類型となっている。③改正の内容④児童発達支援センターが、地域における障害児支援の中核的役割を担うことを明確化する。児童発達支援センターの類型(福祉型・医療型)の一元化を行う。

III. 障害児入所施設からの円滑な移行調整の枠組みの構築①制度の現状について、平成24年施行の児童福祉法改正において、当時、障害児入所施設に入所できていた18歳以上の障害者については、改正後はより適切な支援を行っていくため、障害者施策で対応することとされたが、移行調整が十分進まず、18歳以上の者が障害児入所施設に留まっている状況がある。②改正の内容は、障害児入所施設から成人としての生活への移行調整の責任主体(都道府県及び政令市)を明確化する。

以下 略

報告事項Ⅰ. 「医療問題検討委員会報告」

「入院料算定比較表」…障害者施設等入院基本料(2023年4月改定)等。

報告事項Ⅱ. 福祉問題検討委員会(入所支援・在宅支援)報告

①令和4年度障害福祉サービス等経営概況調査結果の概要…1)療養介護(令和2年度決算)3.6%、(令和3年度決算)3.5%、(増減)▲0.1%。2)医療型障害児入所施設(令和2年度決算)5.0%、(令和3年度決算)5.5%、(増減)0.6%。②各障害福祉サービス等の収支差率及び給与費割合。③新型コロナウイルス感染症に伴う「陽性者等の発生状況」別収支差率等。

「シンポジウム」「重症心身障害医療における現場での集積と進歩」

シンポジウムⅠ. 「栄養の問題」機能高め合併症を予防する栄養療法

①栄養の話題(機能高め合併症を予防する栄養療法)。主として栄養成分欠乏による栄養障害。主として過剰による栄養障害。あるいは添加、併用による栄養障害。②病態別栄養…遷延・反復化する呼吸器感染。栄養不良による反復する感染や外科手術後の免疫力の回復、褥瘡など。

シンポジウムⅡ. 「摂食嚥下の話題」重症児の誤嚥と血清KL-6値

①KL-6(シアル化糖鎖抗原)の説明。②KL-6と誤嚥の関係。③KL-6と胸部CTとの関係。

シンポジウムⅢ. 痙縮治療の話題

「バクロフェン髄注療法」

①痙縮について(重症心身障害児者にとって「痙縮とは」腱反射亢進を伴った緊張性伸張反射の速度依存性増加を特徴とする運動障害で、伸張反射の亢進の結果生じる上位運動ニューロン症候群の一徴候)。・拘縮は、痙縮による姿勢異常が長く続き、筋肉が固まって関節の運動が制限された状態。②痙縮の原因…さまざまな病態が原因となつて発症する。③痙縮治療が目指すところ…四肢の緊張、体幹の緊張、全身への影響の改善。バクロフェン髄腔内投与療法…両下肢と体幹、可逆的。ボツリヌス毒素療法…局所的、可逆的。選択的脊髄後根切断術…両下肢、非可逆的。

シンポジウムⅣ. 「気管切開と誤嚥防止術の話題」声門閉鎖術の紹介

※重症心身障害児・者と家族の願いは、誤嚥や肺炎がなく、苦しい吸痰処置がなく、少しでも食べる楽しみのある平穏で元氣な日常生活の継続での確な氣道管理が不可欠となる。①重症心身障害児・者の氣道管理…気管切開術や誤嚥防止術という外科的な治療の選択肢があること。誤嚥防止術は、氣道管理で追い込まれた症例では大切な治療法となり得ること。致命的な合併症となる氣管腕頭動脈瘻を防止する、声門閉鎖術の術式を紹介する。

※氣道管理で選択される外科治療法…①氣管切開術…氣管カニューレ留置が必須。氣管カニューレでは、完全に氣管への侵入は防げない。②誤嚥防止術…氣道と食道を分離する(喉頭氣

管分離術)。誤嚥性肺炎の完全防止。気管カニューレが不要となれば気管腕頭動脈瘻を防止出来る。③誤嚥防止術後に気管カニューレが留置される理由…人工呼吸器の継続、学校での吸痰、気管孔の狭窄等。

おわりに

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ実現していないために、行政説明や諸報告・委員会報告も文書中心となり、協議という点では協議会の意を尽くせなかつたようにも思われます。次期開催は、千葉リハビリテーションセンター「愛育園」が担当施設となり、東京ベイ幕張開催期間は令和6年(2024年)5月23、24日の予定です。



# 第54回福岡県重症心身障害施設協議会報告

センター長／理事 岩永 知秋



福岡県重症心身障害施設協議会は、福岡県の重症心身障害児者施設、12施設(国立病院機構3病院、公法人立施設9施設)および福岡県福祉労働部障がい福祉課の参加を得て、定期的に年2回意見・情報交換などを行う貴重な機会です。今回第54回は2023年6月8日(木)久山療育園にて、午後2時から2時間ほどで開催し参加施設は11施設でした。福岡県福祉労働部障がい福祉課からもいつものとおり、2名のご参加をいただきました。

協議会では当園宮崎理事長から、5月18・19日の2日間にわたって行われた全国重症心身障害施設協議会の内容と、併せて行われた講演について詳細に報告されました。



次いで福岡県障がい福祉課から医療的ケア児支援施策、レスパイトケアサービスの拡充・利用促進について、現況報告がありました。その後各施設から施設の人事異動の紹介、COVID-19対策、そのほかの取組み、利用者状況などが報告されました。5月からCOVID-19は感染法上の2類から5類へ引き下げられ、一般社会では行動制限が解除されて人流が戻ってきました。しかし医療・福祉施設ではクラスター発生の予防からまだ警戒態勢を取りながらも、いかにコロナ前

の体制に近づけていくか、各施設の取り組みが発表されました。短期入所、面会、外出・外泊などの工夫、ボランティアや学生実習の受け入れ、職員とのCOVID-19検査、ワクチン接種の状況、職員・利用者からの発症患者とその経緯などが報告されました。最後に、国立病院機構福岡病院の本荘哲臨床研究部長から質問がありました。1つは各施設における整形外科診療への体制です。重症心身障害では骨折のほか拘縮、変形など整形外科的問題が生じるため、どのように整形外科診療が行われているのか知りたい、ということ。2つ目は入所者に対する健康診断、とりわけがん検診などを行っているか、という質問です。施設入所の方の中高齢化とともに、がんや生活習慣病などが新たな課題として取り上げられるようになっていきます。この2つの問題については、会議後に当園から各施設宛にアンケートを發出して、内情を伺うこととなりました。



今回は今年12月7日(木)午後2時から福岡病院での開催といたしました。またこの協議会終了後、今年11月16・17日の2日間にわたって開催される西日本重症心身障害施設協議会総会に関する第6回合同委員会を、北九州市立総合療育センター、柳川療育センター、障がい児者医療生活支援ホーム「虹の家」、および当園の4施設で開催しました。開催まであと半年を切りましたが、可能な限り対面での開催を模索していきたいと思っております。



✿・✿・✿・✿・✿ **病棟イベント** ✿・✿・✿・✿・✿

「ハッピーイースター☆」

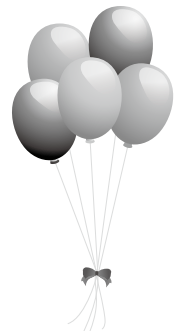
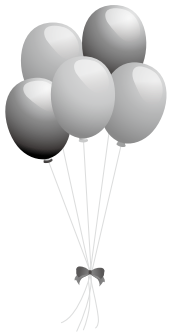
4月。イースターの時期がやってきました。

「イースター」とは「復活祭」という意味でイエス・キリストの復活を祝うお祭りだそうです。めぐみ棟・ひかり棟ではイースターにちなんで「たまご探しゲーム」をしました。チームに分かれ、誰がたまごを持っているか当てるゲームです。

そして、4月ということもあり新人職員の方と一緒にゲームをしました。カエル・クマ・ハチ・ギャルに変装した新人職員とのゲームは最初はお互い緊張している様子でしたが、音楽が鳴りみんなで「どこに隠す？どこにやる？」など声を掛け合いながらするとお互いに笑顔が見られて楽しみながらゲームを進めることができました。どのチームもたまごを見つけることができ、新人職員とも距離を縮めることができたのではないのでしょうか。

今年もいろいろな行事がたくさんあります。みんなで楽しい思い出を作っていきましょう。

(ひかり棟 保育士 大浦真妃)





# めぐみ棟より

## 「新年度」

4月1日よりめぐみ棟での勤務。

初めての異動、初めての病棟ということもあり、不安と楽しみの中、新年度のスタート。毎日があつと言う間に過ぎ、気付けば3か月が経ちました。

めぐみ棟には、今まで関わったことのない呼吸器、持続吸引を使用されている利用者さんもおられ、一から関わり方や介助方法などを学んでいます。難しい面もありますが、毎日楽しく関わることができています。



毎週月曜日に、保育士によるコミュニケーションサークル活動が行われています。今年から遅出支援員も参加することになりました。活動中は、

普段とは違った皆の表情を見ることができたりと、一緒に参加でき嬉しく思いながら毎週「今日は何をするのかな」と楽しみにもなっています。

これからまだまだ沢山の学びを経て、利用者さんにとって良い職員を目指して頑張っていきます。めぐみ棟のみなさんこれからよろしくお願います。

(めぐみ棟)

介護福祉士 池田七瀬



## 「6月の園外活動☆」

コロナ禍によりなかなか外での活動が難しくなっていました。が、ようやく園外活動が二年ぶりに再開できるようになりました。

6月16日にひかり棟の3名が園外活動に参加することができました。場所は自然豊かな粕屋の駕与丁(かよいちよう)公園です。天気にも恵まれ、お昼ご飯を食べてからバスに乗りました。(日焼け止めクリームも忘れずに)。目的地までの道中も外の景色を目で追って楽しんでる様子でした。

公園到着後は3名でおそろいのデニムの帽子をかぶり、木陰に入りながら散歩しています。



池の周りを散歩していると鯉やアメンボを見つけ、草むらには季節の草花が咲いていました。普段からも久山の豊かな自然を感じられますが、また駕与丁公園ならではの豊かな自然を感じられたのではないかと思います。

帰園してからは園の自販機にてそれぞれ飲みたい飲み物を買いました。食堂で職員と飲み物を飲み、「今日の園外活動は楽しかった?」と聞くと、一人の利用者さんから「こうえんたのしかつた」という声をいただきました。利用者様にとって楽しい園外活動になったようでも嬉しく思います。

(ひかり棟 介護福祉士 松本ひらり)



# 通所で頑張っています

## 2023年度 通所運動会

今年もやってきました『久山通所運動会！』今年度も活動の中で開催しました。  
 ラジオ体操で身体をほぐしたあとは…競技『大玉転がし』でタイムを競いました。  
 曜日別で競い、水曜日チームが見事優勝されました！！  
 園旗掲揚・降納も行いました♪真剣な表情やとびっきりの笑顔を見ることが出来ました。



「旗を掲揚・降納しました」



「足で蹴って転がすぞ」



「タイムを競っています」



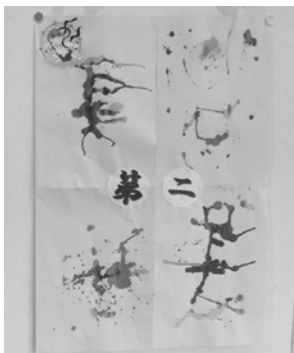
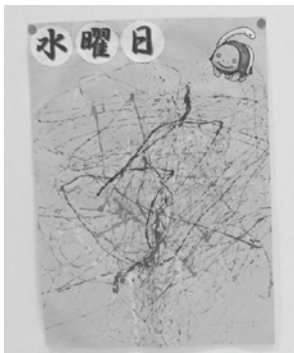
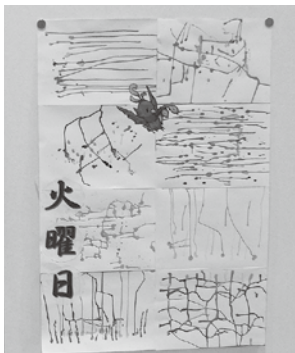
「大きなボールを頑張って転がします」



「お助け棒を使って次の方まで～！」



“運動会に向けて”の活動で作ったバックボードです。  
 コロコロアートやラップペイント、スポイドなどで色付けしました。



# 重症者ホームひさやまより

「新しい仲間が増えました！」

新緑の季節に新規入居者1名・異動職員2名を迎え、重症者ホームひさやまにも爽やかな風が吹いています。



ニューフェイスとして仲間になった場洋子さん。既に入居しているみんなとは顔見知り。おしゃべりを聞くことが好きで、歌をうたったりお名前を呼んだりすると「きゃっ」とお返事をしたり、「きゃっ」と笑ったりして場を和ませてくれます。洋子さんが重症者ホームでの生活を安心して楽しめるように私たちはサポートさせていただきますので沢山の思い出をつくっていきましょね。



そして、昨年度から「みんな笑顔プロジェクト」を掲げている重症者ホームは、「笑顔のために私たちができること」をみんなで作えながら様々なことに取り組んでいます。

バルーンアートが得意な職員、園芸の知識が豊富な職員、整理整頓が得意な職員、食事のアレンジが得意な職員、食事がユーモアたっぷりな職員・・・

日々の生活に欠かせない心地良い空間づくりのために、健康的なリズムで入居者と職員が過ごせるために、今年度も重症者ホームひさやまは前進してまいります。

(重症者ホーム 介護福祉士 松元りか)



「素敵につながりとウォールアートに感謝」

5月20日、21日にウォールアートの企画が実施できました。実施していたいたのは、スマイリング・ホスピタル・ジャパン(SHJ)という認定NPO法人の方々です。

スマイリング・ホスピタル・ジャパンは、闘病中でも重い障害と闘っていても芸術や学びが心の自立と成長に欠かせないとの理念のもと、小児病棟や施設にて参加型芸術活動を在宅訪問にて学習支援を行なう認定NPO法人です。

スマイリング・ホスピタル・ジャパンとの出会いは2017年に久山療育園を訪れていたからで、毎月第3火曜日に行なう音楽を聞かせていただいていた。歌や様々な楽器での演奏会を実施していただき楽しい時間を提供していただいていた。新型コロナウイルスの流行により、毎月楽しみにしていた演奏会も実施できなくなり、ウォールアート実施のお話もいただいていたが、見送ることになりました。

2023年コロナと新しい向き合い方となり、見送っていたウォールアートの実施を実現することができました。

イラストレーター only - toomariこと眞鍋麻里さんのデザインで、スマイリング・ホスピタル・ジャパン代表の松本さん、イラストレーター眞鍋さん、福岡地区のお世話係の藤原さんの3名の方

が来園され、ウォールアートを貼っていただきました。

2日にわたり貼っていただき、久山療育園の廊下が明るく素敵なお雰囲気になりました。貼る作業をしながら皆さんがどんな表情をされるか見てみたいですよとおっしゃっていただき、貼る作業も皆さんの喜ぶ笑顔を想像されながらしていただきました。

カラフルな植物と動物、にっこりスマイルがたっくさんのアート作品で廊下を通る利用者、家族、職員、託児所の子供たちなどたくさんの人たちの目を楽しませていただいています。

クラウドファンディングによるご支援のもとスマイリング・ホスピタル・ジャパンのウォールアートを久山療育園に実施しませんかと声をかけていただき、全国で3番目の実施だということに驚きと感謝でいっぱいです。

今後、以前のように様々なアーティストによる演奏会の実施もしていけたらと考えています。

スマイリング・ホスピタル・ジャパンとの出会いに感謝し、今後つながりを大切に楽しい時間を共に過ごしていけたらと思います。

(ひかり棟 療育主任 古賀クミ)





じめじめと暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症が感染法上「5類」に引き下げられましたが、未だ利用者さんとの面会やふれあいがままならない日々です。そこで久山療育園の日常をお届けしたく利用者さん達の日常の一部を切り取りました。どうぞご覧ください。

## めぐみ棟



どっちがかわいい？



立位でお散歩！



ゲームで優勝したよ★



バスに乗ってレッツゴー！



自分で摘んだよ押し花になるよ



いちごミルクアイス美味しい☆



風船マットで大はしゃぎ



## ひかり棟



積み木遊び☆どこまでたかくなる？

# 通所



園外のごみも拾います



外は気持ちいいな～



クリーン活動  
楽器をきれいにします

# そら 宇宙



トマトを植えたよ♪



大好きなお散歩に行きました



# 重症者ホームひさやま



立位頑張ってるよ♪



イチゴを収穫!!



ミニトマトを植えたよ!



活動でドリップコーヒー?!



藤田 英彦

心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。(マタイによる福音書5章3節)

前号でも紹介したキリスト者、かなしみと喜び、死と生、闇と光を綴り、3千の詩を残し29才の若さで天に召された詩人八木重吉の言葉を紹介したい。

**祈**  
ゆきなれた路の  
なつかしくて耐えられるように  
わたしの祈のみちをつくりたい  
**きりすと**  
きりすと  
われにありとおもうはやすい  
が  
われみずから  
きりすとにありと

ほのかにてもかんずるまでの  
とおかりしみちよ  
きりすとがわたしをだいてくれる  
わたしのあしもとにわたしが  
ある

**きりすとをおもいたい**  
きりすとをおもいたい  
いっぽんの木のようにおもいたい  
ながれのようにおもいたい  
もったいなし  
もったいなし  
おんちちうえ ととなうるばかりに  
ちからなく わざなきもの  
たんたんとして いちじょうのみちをみる  
**よぶがゆえに**  
みえきたるものあり  
よぶことなければきえゆくものあり  
**すべての**  
すべてのの  
くるしみのこんげんは  
むじょうけんにも せいげんに  
ひとをゆるすという  
そのいちねんがきえうせたことだ  
**無題**  
神様 あなたに会いたくなつた

この明るさのなかへ  
ひとつの素朴な琴をおけば  
秋の美しさに耐へかね  
琴は静かに鳴りいだすだろう  
**草にすわる**  
わたしのましがいだつた  
わたしのましがいだつた  
こうして 草にすわれば それ  
がわかる  
わたしのましがいだつた  
わたしのましがいだつた  
**太陽**  
お前はしずんでゆく  
何んにも心残りもみえぬ  
何んの誇るところもみえぬ  
ただ空をうつくしくみせている  
**在天の神よ**  
在天の神よ  
この弱き身と魂を救いて  
神とキリストの光のために  
働かせて下さい  
**てんにいます**  
てんにいます  
おんちちうえをよびて  
おんちちうえさま  
おんちちうえさまととなえまつる  
いずるいきによび  
入りきたるいきによびたてまつる  
われはみなをよぶばかりのものにてあり

素朴な琴

この明るさのなかへ  
ひとつの素朴な琴をおけば  
秋の美しさに耐へかね  
琴は静かに鳴りいだすだろう

草にすわる

わたしのましがいだつた  
わたしのましがいだつた  
こうして 草にすわれば それ  
がわかる  
わたしのましがいだつた  
わたしのましがいだつた

太陽

お前はしずんでゆく  
何んにも心残りもみえぬ  
何んの誇るところもみえぬ  
ただ空をうつくしくみせている

在天の神よ

在天の神よ  
この弱き身と魂を救いて  
神とキリストの光のために  
働かせて下さい

てんにいます

てんにいます  
おんちちうえをよびて  
おんちちうえさま  
おんちちうえさまととなえまつる  
いずるいきによび  
入りきたるいきによびたてまつる  
われはみなをよぶばかりのものにてあり

今年も届きました。



毎年春になるとロジテム九州さんからの春の温かい便りが届きます。

利用者のために何か役立つ物にご利用くださいと職員の方々が献金をくださいます。

今年は師長から血圧計とパルスオキシメーターが欲しいと希望されましたので写真のデジタル血圧計とパルスオキシメーターを購入しました。

この献金は私の知る限りとても長い間続いています。コロナ禍で厳しい日々が続きました。ロジテム九州さんのように皆がすべての人に優しくできるようになりたいと思います。

私たちにもできる小さなことをと思い道路の花壇を有志で草取りをしました。

(看護部長 吉本法生)



# 2023年度 久山療育園開園祭 (バザー、交流イベント、健康フェア等)中止のお知らせ

昨年度に引き続き、本年度の開園祭も中止のお知らせです。

毎年、多くの皆さまにご来場いただき久山療育園開園祭ですが、残念ながら今年も中止の決定をお伝えすることにになりました。新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が5月8日より「5類」に引き下げられましたが未だ終息の状況に至っておらず、当施設をご利用されておられる重症児者の皆さまとご家族の安全と健康を考慮し、6月26日の「開園祭実行委員会」におきまして中止することを決定致しました。大変残念な思いでございますが、何卒ご理解の程お願い申し上げますとともに、次年度こそは楽しい開園祭の場でお会いできますことを、心より祈念しております。(尚、平素の応援えへの感謝をささげる為、ボランティア・勤続職員表彰を兼ねた礼拝を9月23日土曜日(秋分の日)に実施致します。対象の方にはご案内を差し上げますので、宜しくご確認くださいませ。)

パプテスト心身障害児(者)を守る会  
理事長 宮崎 信義  
久山療育園重症児者医療療育センター  
センター長 岩永 知秋

## 共に生きる汗を流そう

2022年度の「ミットレーベン・ネットワーク」の活動は、コロナ禍での影響が残り、十分なものとは言えない状況でした。それでも、教会の方々をはじめとして、多くのご協力を頂き、2,030,179円の献金をすることができました。謹んで感謝し、ご報告申し上げます。

さて、連休明けから「5類移行」となり、活動も新たな展開が期待できる状況にありますが、現時点ではまだ確定的なことは申し上げられません。

さて、前号でお知らせした通り、8月11日(金、休日)に、久山療育園で草刈りを中心にした1日のワーク作業を予定しています。一人でも多くのご参加をお待ちしています。なお、参加方法などは、追ってご連絡いたします。

重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」会長 伊原幹治

ご協力ありがとうございました  
(2023年3月1日〜5月31日) 敬称略

### 【法人】

#### 一般献金

上尾キリスト教会女性会、飯田節子、石垣幸枝、磯寄佳果、伊都キリスト教会、イハラリヨウ、香住ヶ丘バプテスト教会、栗ヶ沢バプテスト教会、(公財)福岡YWCA、(公)日本バプテスト篠崎キリスト教会、西南学院バプテスト教会兄弟会、聖ミカエル幼稚園、田隈バプテスト教会つくしんぼうの会、筑波バプテスト教会、堤秀幸、東洋英和女学院中高部宗教委員会、長崎靖子、日本キリスト教団東郷教会こどもの教会、日本キリスト教団福岡弥生教会、日本バプテスト連盟豊岐キリスト教会、日本バプテスト連盟諫早キリスト教会、日本バプテスト連盟堺キリスト教会、会婦人会、日本バプテスト連盟豊橋キリスト教会、日本バプテスト連盟瑞穂キリスト教会、橋本治光バプテスト東福岡教会、ひかり幼稚園、久山療育園手作品売上、姫路城西キリスト教会、福岡アルミ工業(株)、福岡国際キリスト教会、福岡女学院教会、福岡第一ライオンズクラブ福岡地方連合女性会、防府バプテスト教会、山口正夫、横溝貢祐、吉村敏彦、吉村佐津紀、ランディット(株)、立教女学院キリスト教センター  
(以上1,308,063円)

### 【重症者ホーム】

#### 一般献金

自動販売機売上献金、才藤千津子、久山療育園献金箱、匿名  
(以上3,051,395円)

### 【施設】

#### 一般献金

岡本好枝、(公社)日本フイランソロपी協会、古賀和男、後藤香織、新藤賢恵、佐知子、仙川キリスト教会、立石有梨佳、田中節子、由美、橋本治光、松尾国利、松尾貴光、勇一  
(以上389,814円)

### 【献品】

NPO法人大隅シオン会(食服用エプロン他)、錠弘行(掃除機)、入山秀人(葉書)、荻本光雄(玉葱)、奥睦美(タオル)、草場貴子(葉書)、久保山信・剛(葉書)、隈部有理(かるた)、小森悦子(タオルエプロン)、新藤佐知子(葉書)、末田慧祐(葉書)、末田初恵(バスタオル)、高倉博子(エプロン他)、花原ヒサ子(オムツカバー他)、福田さとみ(葉書)、三苫宏美(タオル)、目白ヶ丘教会女性会(エプロン他)、山口正夫(葉書)  
(以上110,080円)

## 献金申込先

- 1.【郵送】  
社会福祉法人 パプテスト心身障害児(者)を守る会  
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092)976-2281(代)
- 2.【郵便振込】郵便振替【01720-8-24404】  
名義：パプテスト心身障害者を守る会
- 3.【銀行振込】西日本シティ銀行久山支店 普71888 名義：パプテスト心身障害児(者)を守る会 理事長 宮崎信義
- 4.【ホームページ】当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。  
個人、会社共に免税の対象になります。  
メール：hisayama@hisayama-smid.jp

# ボランティアだより

現在のボランティア活動の受入れ状況は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、福岡県内の感染状況も少しずつ落ち着いてきました。このタイミングで、6月の2週目より、ボランティア活動時間を通常通り（10時30分～15時）に変更させていただきます。

食事場所や作業内容など以前と同様な状況になるまでは、もう少し時間がかかると思います。

## 「現在の主な作業内容」

洗濯物たため、裁縫、その他ボランティア室で出来る作業（装飾づくり等）、車椅子拭き等ホールでの作業

## 「食事場所」

ボランティア室（食堂の電子レンジ類・給茶機は使用可能）

現在、ボランティア室の壁面に、装飾づくりで作成していたいただいた、様々な飾りを病棟や通所、グループホームに掲示している状況を写真で撮影して展示しております。

慣れない作業の中ではありますが、最近ではボランティアの皆様にも意見をもらうこともありますし、日に日に丁寧な素早く作成してもらっている様子も見られています。本当に感謝です。

今後でも市中の感染状況も見ながら、出来ることを少しずつでも取り組んでいきたいと考えています。

今年度、11月頃には、「ボランティア講習会」の開催も実施予定としています。ボランティア委員会の大

きな目的でもある

①ボランティアの方々とのつながりを持ち続ける

②ボランティアの方々へこれまでの感謝を伝える

③ボランティア活動の継続・新規活動者の開拓

に向けて、たくさんの皆様とお会いできることを利用者・職員一同、楽しみにしております。

（ボランティア委員長 島津洋昭）

## 【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールを開設しています。「興味があるけど、どんなことするのか心配…」「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。

お気軽にご利用ください。

[bora@hisayama-smid.jp](mailto:bora@hisayama-smid.jp)

## 歩 行 器

コロナウイルスも5月から5類に変更となり、マスク着用も任意となり、世間では徐々に活況を取り戻しつつあるように見えます。一方、久山療育園においては、同じように手放しでは感染対策がとれないのが現状です。一般的にはコロナウイルスに感染しても重症化するリスクは小さくなったと言われますが、重度心身障害児者にとっては、どのようなリスクを伴うかまだまだ脅威のウイルスです。5類になったことで濃厚接触者の指定はなくなりましたが、職員にとっては家族が感染し、自身が濃厚接触となったことで、感染者として発症し、更に誰かに（特にご利用者に）感染させてしまうかもしれない、との危機感は未だに過ぎ去ってはいません。新型コロナウイルスの感染力が弱まり、一日も早く終息へと向かってほしいものです。

先日、職員の研修レポートに以下のようなコメントがありました。重度心身障害児者のケアに当たると、私たちの職業意識が問われ、感性が磨かれるというものです。

一般に医療福祉に携わる際に、ご利用者から感謝の言葉を頂いたり、反対に、不適切な対応の場

合は、厳しい指摘を受けていく中で、自分自身の成長も促されます。しかし、重度心身障害児者の方々は、ご自身の思いや要求を言葉で伝えることが殆ど難しいのです。そんな中、スタッフは、相手の気持ちや願いを思い巡らせていくことが求められます。相手の思いを大切に。人間関係にとって大切なことを、職務を通して人一倍育てられるのです。

重度心身障害児者と「共に生きる」。久山療育園の理念は、決して一方的な関係ではなく、双方が育成されていく関係であり続けることを願います。

（T・N）

重症心身障害施設  
久山療育園ホームページ  
<http://hisayama-smid.jp/>



求人情報

